

カヌーFWR競技 2007年度 日本代表選手 選考方法

平成18年1月10日
(社)日本カヌー連盟
強化部長 甲斐信幸

2008年北京オリンピックの一次予選となる「2007 ICF 世界FWR選手権大会」(2007年8月8日～8月12日、ドイツ デュイスブルク)および「2007 ICF FWR ワールドカップ第1戦」(2007年5月4日～5月6日 クロアチア ザグレブ)、「2007 ICF FWR ワールドカップ第2戦」(2007年5月18日～5月20日 ハンガリー セゲド)、「北京オリンピックテストイベント(プレオリンピック)」(2007年8月23日～8月26日 中国 北京)および「第12回アジアカヌー選手権大会」(2007年9月1日～9月4日 韓国 ハワチョン)に出場予定とする日本代表選手の選考方法は以下のとおりとする。

選考の基本システム

- (1) 2007年度日本代表選手選考のため、4段階の選考会を実施する。
- (2) 日本代表選手選考には、上記の4つの選考会に加え、2006年の「ICF 世界FWR選手権大会」(2006年8月17日～8月20日ハンガリー セゲド)とアジア競技大会(2006年12月10日～14日カタール ドーハ)の成績を加味する。
- (3) (1)の4つの選考会および(2)の国際競技大会のそれぞれにおいて、成績に基づく「評価ポイント」を設定し、(1)の4つの選考会のそれぞれの評価ポイントの合計に(2)の国際競技大会の評価ポイントを加味し、「合計評価ポイント」を算出し、この「合計評価ポイント」に基づき、「評価ランキングリスト」を作成する。ただし、G2の選手選考にあたっては、以下の備考のとおりとする。
- (4) 日本代表チームコーチならびにFWR強化委員会は、強化部長を通じ、上記の「評価ランキングリスト」に基づいた「日本代表選手候補者リスト」を選考委員会に提出し、選考委員会が日本代表選手を選考する。

各選考会の概要と評価ポイント

1次選考会 日本カヌーFWR選手権大会

石川県 小松市

2006年9月15日～9月19日

1000m 500m のシングル種目を選考種目とし、それぞれの種目の順位により、評価ポイント割り当てる。

1000m 500m のそれぞれの1位には評価ポイント100点が与えられ、以下2位に85点

(以下 下記のとおり)の得点を与える。

この選考会における最大評価ポイントは、100点×2種目の200点とする。

2次選考会 総合的陸上体力検査(エルゴメーター・パワー・持久力)による選考会

石川県 小松市 木場潟カヌー競技場

2007年2月9日～2月11日

- ① エルゴマシーンを利用した持久力・パワー測定
男子・女子ともストローク 70 (Gは 40) で 4 分間×1 本、平均ワット数で競う。
- ② ベンチプレスによるパワー測定 (最大回数)
男子 45Kg 2 分間のパワー測定、女子 35Kg 2 分間のパワー測定
- ③ ダンベルロープルによるパワー測定 (最大回数)
男子 片腕ずつ 25Kg 2 分間、女子 片腕ずつ 20Kg 2 分間
- ④ 持久力ランニング
男子 1500m、女子 1000m

以上の①～④の種目において、それぞれの成績(タイム、平均ワット、最大回数)により、割り当てられた得点を合計し、それぞれの 1 位には評価ポイント 100 点が与えられ、以下 2 位に 85 点(以下 下記のとおり)の得点を与える。
なお、①～④の種目間、および種目内のポイント配分において、等価性が得られるよう得点配分を検討する。

備考：カナディアンペア (G2) の選手選考について

カナディアン種目においては、第 1 次～第 2 次選考会までの評価ポイントに関して、「右漕ぎ・左漕ぎ」を区分し、「中間評価ランキングリスト」を作成する。この「中間評価ランキングリスト」において、右漕ぎ・左漕ぎのそれぞれにおいて、上位 6 位までにランク付けされた選手は、その選手間で、任意にペア (C2) のクルーを組み、以下の第 3 次・第 4 次の選考会にペア (C2) で出場してもよい。ただし、C2 で第 3 次・第 4 次にペア (C2) で出場する選手は、シングル (C1) の種目に出場することができない。なお、C2 の選手選考にあたっては、第 3 次・第 4 次の選考会の結果に基づき、「C2 合計評価ポイント」算出するが、このポイントは、個人ではなく、艇(クルー)のものとする。この際、他の種目で評価が加味される国際競技大会の成績においては、C2 の選手 2 人が共に評価ポイントを得られた時のみ、艇(クルー)として評価ポイントが得られることとする。

3 次選考会 カヌー競技特有の持久性検査 水上長距離による選考会

香川県 坂出市

2007 年 3 月 26 日～3 月 30 日

シングル種目のみ実施。

男子 K1, 男子 C1, C2 (上記備考の条件), 女子 K1 3600m 1 本 (1800m コース往復) 波乗りを防止するため、シード制を導入しながら、30 秒単位でひとりずつ出漕する。

タイムの優れた者から、1 位とし、1 位の者から 100 点、2 位に 85 点(以下、別紙のとおり)の得点を割り当てる。

この選考会における最大評価ポイントは、100 点とする。

4 次選考会 水上スプリントによる選考会

石川県 小松市

2007 年 5 月 4 日～6 日

4次選考会の実施種目 1000m 500m K1 C1 C2 (上記備考の条件) WK1
1000m 500m のそれぞれの種目の順位により、評価ポイント割り当てる。
それぞれの1位には評価ポイント100点が与えられ、以下2位に85点
(以下 下記のとおり)の得点を与える。

この選考会における最大評価ポイントは、100点×2種目の200点とする。

☆ 国際競技大会の評価ポイント

2006年の「ICF世界FWR選手権大会」(2006年8月17日～8月20日ハンガリー セゲド)における全ての種目において、A決勝に進出した選手およびアジア競技大会(2006年12月10日～14日カタール ドーハ)において、1位になった選手は、これらの成績のみにおいて、日本代表チームコーチならびにFWR委員会より、強化部長を通じ、連盟理事会に「日本代表選手」として推挙される。なお、アジア競技大会において、2位・3位になった者には、国際競技力評価ポイントとして、2位の者には、85点が、3位の者には75点が与えられる。複数の種目で、2位・3位になった者も、最も優れた1種目でのみ評価し、評価ポイントを与える。

日本代表選手選考会への参加資格

前年度2006年度日本代表選手および都道府県会長の推薦のあった選手。

各選考会における順位により、与えられる評価ポイント

1位	100点
2位	85点
3位	75点
4位	65点
5位	60点
6位	55点
7位	50点
8位	45点
9位	42点
10位	39点
11位	36点
12位	33点
13位	30点
14位	27点
15位	24点
16位	21点
17位	19点
18位	17点
以下、2点ずつ点数が減少。	